

2018/12/21

マスコミ

「明治は遠くな
りにけり」が流
行ったのは昭和
40年代と思っ
たが、その昭和
から平成と移り
30年を経ると、
「昭和も遠く
りにけり」であ
る。

代わっての救世主、放射能
の否定など「がいかにつく
られたかを丹念に検証して
いる。記者出身の研究者で
ある井上が、政府・軍・大
学そして新聞が共謀して情
報操作と世論形成の過程を
記している。これほど強い

ヤロウエイ、渡会圭子訳
『the four GAF
A—四騎士が作り変えた世
界』（東洋経済新報社）は
次の十年第五の騎士となる
十以上の企業・個人を挙げ
る一方で、少数の支配者と
多数の農奴の時代の到来を
予言している。

一方、大原通郎『テレビ
最終戦争』（朝日新書）が
描くのは世界のメディアア
ピネスの覇権交代だ。旧来
の勢力（ハリウッドやテレ
ビ産業）からFANG（フ
ァングルフェイスブック・
アマゾン・ネットフリック
ス・グーグル）+アップル
へ移りつつある中、日本の
テレビはどうなるのか。

こうした大状況に比べる
と、ジャーナリズムは、日
々の生活の中で常に問題意
識をもって、「おかしなこ
とではないか」の発見と粘
り強い取材といった地道な
作業であろう。朝日新聞取
材班『権力の「背信」』（朝
日新聞出版）は数年来の森
友・加計問題の取材現場を
描いている。ありきの結
果ではなく、それがどのよ
うにして透明なプロセスで
行われてきたかを検証する
ことはジャーナリズム、ア
カデミズムに限らず、民
主主義社会に求められもの
ではないか。

エドワード・スノーデン
ほか、自由人権協会監修
『スノーデン 監視大国日
本を語る』（集英社新書）
は日本ばかりでなく、益々
速度を早める監視社会の構
築と恐ろしき、政府にとっ
て不都合なことを知らせな
い情報環境への危惧を示
す。そして「田和樹」フェ
イクニュース「新しい戦略
的戦争兵器」（角川新書）
はネット世論操作が産業化
する今日、民主主義の危機
を訴え、津田大介『情報戦
争を生き抜く—武器として
のメディアアリテラシー』
（朝日新書）は情報環境の
「汚染」に吞まれるなど警
鐘を鳴らす。

とすると、ポピュリズム
政治やフェイクニュースが
はびこるこうした世界に立
ち向かうジャーナリズムの
姿勢をもう一度問いかける
ことも必要である。

古賀純一郎『アイダ・タ
ーベル』（旬報社）はロッ
クフェラー帝国に挑み、解
体に追いやった女性ジャー
ナリトの生きざまを紹介し
ている。「世紀前とはい
え、ターベルの調査報道の
手法は現代にも通じるもの
がある。また花田達朗ほか
編著『探査ジャーナリズム
／調査報道』（彩流社）は
アジアで台頭する非営利ニ
ュース組織の誕生の背景・

メディア過多時代の現代に

日々の生活の中で持つ問題意識

鈴木 雄 雅

官民一体はない。

GAF A（ガーファアグ
ーグル・アマゾン・フェ
イック・アップル）が顕
在化している。中でも、ア
マゾンの創始者J・ベンス
はこの四半世紀米国長者番
付一位に君臨したマイクロ
ソフトのB・ゲイツを抜い
た。サイバー時代も世代交
代が目立つ。スコット・ギ

「NHK放送記者出身の秋
山は豊富な経験と資料を駆
使して日本のラジオ放送史
を検証している。ラジオ放
送は関東大震災（一九二三
年）の被災から機運が高ま
ったが、戦争とともにその
機能はゆがめられていく。
井上泰浩『アメリカの原爆
神話と情報操作』（朝日新
聞出版）は原爆投下をめぐる
神話—日本を降伏させ、
百万人の命を救った、神に

「NHK放送記者出身の秋
山は豊富な経験と資料を駆
使して日本のラジオ放送史
を検証している。ラジオ放
送は関東大震災（一九二三
年）の被災から機運が高ま
ったが、戦争とともにその
機能はゆがめられていく。
井上泰浩『アメリカの原爆
神話と情報操作』（朝日新
聞出版）は原爆投下をめぐる
神話—日本を降伏させ、
百万人の命を救った、神に

「NHK放送記者出身の秋
山は豊富な経験と資料を駆
使して日本のラジオ放送史
を検証している。ラジオ放
送は関東大震災（一九二三
年）の被災から機運が高ま
ったが、戦争とともにその
機能はゆがめられていく。
井上泰浩『アメリカの原爆
神話と情報操作』（朝日新
聞出版）は原爆投下をめぐる
神話—日本を降伏させ、
百万人の命を救った、神に

「NHK放送記者出身の秋
山は豊富な経験と資料を駆
使して日本のラジオ放送史
を検証している。ラジオ放
送は関東大震災（一九二三
年）の被災から機運が高ま
ったが、戦争とともにその
機能はゆがめられていく。
井上泰浩『アメリカの原爆
神話と情報操作』（朝日新
聞出版）は原爆投下をめぐる
神話—日本を降伏させ、
百万人の命を救った、神に

「NHK放送記者出身の秋
山は豊富な経験と資料を駆
使して日本のラジオ放送史
を検証している。ラジオ放
送は関東大震災（一九二三
年）の被災から機運が高ま
ったが、戦争とともにその
機能はゆがめられていく。
井上泰浩『アメリカの原爆
神話と情報操作』（朝日新
聞出版）は原爆投下をめぐる
神話—日本を降伏させ、
百万人の命を救った、神に



朝日新報の記者が撮影した

代が目立つ。スコット・ギ

エドワード・スノーデン

ほか、自由人権協会監修

『スノーデン 監視大国日

本を語る』（集英社新書）

は日本ばかりでなく、益々